

京都教区時報

Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

4頁 田中司教が語るエピソード(9)

5頁 大聖年のための取組み計画作り

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
編集用 TEL・FAX
077-527-6800
(滝野)

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込み
TEL・FAX 0794-31-8601

二千年大聖年の準備 一九九九年は御父の年
「御父のもとへの旅・回心と連帯」

力トリック京都司教 パウロ 大塚 喜直

京都教区では、二千年の大聖年の準備を小教区等に呼び掛ける方法の一つとして、一昨年からビデオ・レターを製作しています。一九九七年の「御子キリストの年」の始まる前の一九九六年十一月に日本二十六聖人殉教四百年祭を祝い、その時に『二十一世紀の福音宣教にむかって』と題するビデオを、一九九八年「聖霊の年」に向けて、私の司教のモットーでもあります『みながひとつになるよう』というタイトルのビデオをお送りしました。三位一体に基づく準備の最後の年、一九九九年「御父の年」に向けて、『御父のもとへの旅・回心と連帯』と題するビデオをお送りいたします。

教皇ヨハネ・パウロ二世は、使徒的書簡「紀元二千年の到来」の中で、『御父の年』の目的は、「信者がキリストのような見方によつて、すべてのことを見るようになります。信者の視野を拡大することにあります」(第4章49)と述べられています。「私は父から出てこの世に来たが、今、この世を去つて、父のもとへ行く」。

日本は戦後、経済的には豊かな社会を築くことができましたが、精神的には、心の眞の豊かさを失つたようです。例えば、会社で働く人々も増えていました。路頭に迷う人々も増えています。

そのため、ルカ福音書15章の「放蕩息子のたとえ話」を味わうことには大きな助けとなります。息子が財産をもらつて出ていくのを見たときに、私たちも父親がゆるしたように、私たちも神から自由をあたえられています。しかし、財産を使い果たし飢餓でみじめな思ひをしている弟の姿は、まさに現代の私たちの行き詰まつた姿ではないでしょうか。

日本は戦後、経済的には豊かな社会を築くことができましたが、精神的には、心の眞の豊かさを失つたようです。例えば、会社で働く人々も増えています。路頭に迷う人々も増えています。

ハネ福音書第16章28節でいわれる「わたしたちキリスト信者が、キリストのような見方によつてすべてのことをみるようになる」ように、わたしたちキリスト信者が、キリストの豈かさを失つて、生きる私たちも、父の家から離れていたがゆえに、人間本来の神の子としての豊かさを失い、個人も人類も瀕死の状態にあることに気付き、神の子の豊かさを無条件に与えてくださる御父の愛にも一度目覚め、父への回心の道を歩み出す必要があるのでないでしょうか。

一九九九年は、フランス・ザビエルが日本にキリスト教を伝えて四百五十年の記念の年にあたります。いただいた自分たちの信仰をあやふやなまま生きていてよいわけがありません。大聖年を迎えるにあたり、日本の教会の福音宣教の反省のためのよい機会とし、これから始まる御父の年、私たち一人ひとりが、そして人類全体が、御父へ向かう巡礼の旅を新たに始めることを再確認し、日々あらたな回心を繰り返しながら、来るべき二十一世紀の教会の準備をしましょ。

弁護者、真理の靈の派遣 佐藤正明

聖書講座シリーズ「聖書が語る聖靈」の六月十・十一日

章31～35節、マタイ福音書10章16～20節です。

の講演の要旨です。佐藤正明

さんは、町田教会の信徒であ

り、以前に玉川学院大学教授

で、聖書学を専攻されていま

した。

聖書がなぜ弁護者、真理の靈として派遣されたのかということを一番の問い合わせおき、このことに到達するために以下の六つのステップをふんで考えていきましょう。

①聖書のどういう箇所に載っているか。

②弁護者、真理の靈とはどういう意味なのか。

③ヨハネ福音書と他の福音書と比べてどういうことがわかるか。

④真理とはどういうことか。

⑤愛の掟とどういう関係にあるか。

⑥弁護者、真理の靈の派遣を福音書全体と使徒行録から解釈してみて何がわかるか。

まず、聖書の箇所ですが、メイ

ンはヨハネ14章～16章15節まで

す。その中で特に、14章6節、16

17節、26～27節、15章26～27節、

16章1～13節を読んで見て下さい。

そのほか、ヨハネ8章31節～、13

●風、息を意味するプネウマ

ここで、言葉の意味についてはつきりさせておきたいと思います。

真理の靈とか聖靈というのは比喩的な言葉だと考えます。神はもともと人間の言葉を語る必要はありませんから、私たちにわかるよう

な言葉にして下さったのです。聖靈は「ブネウマ」というもともと「風」の意味です。息を吹きかけるとか。ですから「靈」は「風」とか、「息」で、それに「聖」を加えて神の靈としました。靈といふ言葉は多様な言葉で使われています。

聖靈という言葉はルカ福音書、マタイ福音書に多く出でますが、マルコ福音書、マタイ福音書にはあまり出てきません。特に、弁護者という言葉はヨハネ14章～16章にしか使われていない言葉です。

四つの福音書はそれぞれ書かれた目的が違います。また、一つの福音書に全てのことが書かれているわけではありません。ただ、弁護者という言葉は使われていませんが、言葉を代えて他の福音書にも

でできます。いずれにしてもイエスは聖靈について、最後の晩餐まであまり話さなかつたのではない

かと私は考えます。

●人を自由にする真理の靈

次に、人を自由にする真理といふことですが、イエスの言う、真

理の靈とは何か。真理という言葉は聖書の中にたくさん使われています。また、多くの場合パウロの書簡に使われているように、教いのためには啓示された神の教えが真理です。また、あるいは、福音は真理であります。しかし、ヨハネ8章31～32節にみると

うに真理は人を自由にすると言っています。これは、「私は道であ

り、真理です」と言われるイエス

そのものだからです。ですからこ

こでいう自由というのは、罪の奴

隸からの自由、死からの解放とい

う自由を意味しています。だから、

みなさん、真理の靈というのは力

のこもつた靈なのです。

●愛の掟を思い起こさせる聖靈

最後に、イエスはご自身の最後の時に他の弁護者がくるということを弟子たちに言いました。そして、聖靈の派遣がありました。聖靈はなんのために派遣されたかといふと、教えを思い起させ、理

解させ、偽りと誤りを破らせて、何をしたらよいか教え、恐れずに証しすること。罪から自由にすること。最高の道を実践させること。最高の道とは愛の掟を実践することです。そして、絶えず弟子たち（教会）とともにあって、弟子たち（教会）を守り導くこと。この四点が聖靈の派遣された主な目的だつたと思います。そして、弁護者・真理の靈である聖靈は私たちといつも一緒にいて、キリストの神秘体である教会とともにあるのです。さらに、新約聖書も聖靈によつてできたといえるでしょう。

ですからみなさん、聖靈を拒む人は、自分の内に見えさせてもらつているものを拒むのと同様で何も見えなくなり、回心も無理です。

私たちは、聖靈を進んで受け入れていましょ。

（文責・編集部）

盛大にクリスマスキャロル



大津教会では、毎年クリスマスイブのミサの前にクリスマスキャロルを教会の周辺でしてきました。ただ、平日のためにキャロルの参加者が少ないので悩みの種でした。

大津教会では、毎年クリスマスイブのミサの前にクリスマスキャロルを行なうことを願って、大勢の方がキャロルに参加されることができました。

今年も十一月二十三日にクリスマスキャロルを行なうことを願って、大勢の方々が集まりました。今年も十一月二十三日にクリスマスキャロルを行なうことを願って、大勢の方々が集まりました。

記念ミサ及び合同堅信式
あいにくの雨で、集会所でのミサとなりましたが、日本最初の神学校が設立された地で、福音宣教に取り組んでいく決意を新たにしました。滋賀県では毎年この安土セミナリヨ記念ミサで、合同堅信式を行っています。

●六月二十七日 滋賀力トリック婦人の集い

働いている婦人の方にも参加して頂くように、第四土曜日の午後に開催しました。参加者は約五十名でした。ミサのあと、ハイメ神父よりお話をうかがい、その後交流を深めました。参加された方々は他の小教区の方とも熱心に交流

なりました。又、例年ですと、西武百貨店、打出病院、膳所ハツ、膳所駅前でしていましたが、昨年までの西武百貨店前の代わりに、パルコの前ですることで準備を始めました。

パルコにはFM滋賀のパルコサテライトスタジオがあり、当日はその前でクリスマスキャロルを行い、なんとラジオで生中継されました。たくさんの方がキャロルのメンバーに加わり、日頃の練習の成果を思う存分發揮することができました。

●五月二十四日 安土セミナリヨ記念ミサ及び合同堅信式
あいにくの雨で、集会所でのミサとなりましたが、日本最初の神学校が設立された地で、福音宣教に取り組んでいく決意を新たにしました。滋賀県では毎年この安土セミナリヨ記念ミサで、合同堅信式を行っています。

●九月二十三日 びわこウォーカソン及び滋賀力トリック交流会
びわこウォーカソンは当初から十一月二十三日に、滋賀力トリック交流会は十月頃に開かれていました。昨年は日本二十六聖人殉教四百年祭があつた関係で、ウォーカソンは十一月四日(三日の振替)に、昨年も十一月三日に開催しました。ただ十一月三日はいろいろな行事と重なり都合が悪いということで、今年は交流会の担当が大津教会ということもあり、交流会と同じ日にしました。午前中ウォーカソンをした後、昼間にビンゴゲームをし、午後から弦楽四重奏のコンサートを聞き、交流を行いました。

そこで、桃山教会での取り組みを参考にして、

滋賀での取り組み

され、とてもよい集まりとなりました。

●滋賀県では、「カトリック滋賀県連合会」という名称で、以前から信徒、修道者、司祭が共に集まつて県での活動に取り組んできました。司教様の呼び掛けで「滋賀力トリック協議会」と名前は変わりましたが、会長の交替時期を教区協議会に合わせた他は、内容に変化はありません。

各小教区の会長が副会長となり、年に五回例会を開いています。

●五月二十四日 安土セミナリヨ記念ミサ及び合同堅信式
あいにくの雨で、集会所でのミサとなりましたが、日本最初の神学校が設立された地で、福音宣教に取り組んでいく決意を新たにしました。滋賀県では毎年この安土セミナリヨ記念ミサで、合同堅信式を行っています。

●八月十五日～十六日 青少年夏期練成会
滋賀県では毎年、小学五年生(高校三年生を対象にした練成会が夏期に行なわれてきました。場所は昨年に引き続き、野外礼拝センターでした。今年のテーマは「聖霊のはたらき～いままでの教会、これから教会～」で、ハイメ神父の指導により、話し合いでなく、グループでの作業も行いました。

田中司教が語るエピソード（9）

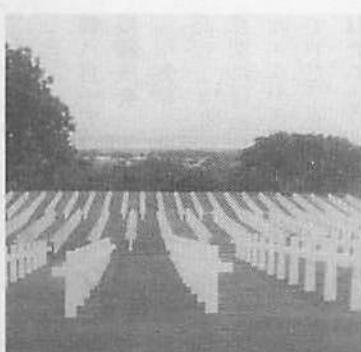
▼司教様はお墓の好きな司教様と
いうことを耳にした事があります
が、この事についてお聞かせ下さ
い。

◆そう一九五二年十月に初めてイ
タリアの地を踏んだところはジエ
ノバーノでした。船の高級船員にジエ
ノバーで見物するものは何かと尋
ねましたところ、直ぐに「カンボ
サント、聖なる島」すなわち、お
墓と教えてくれました。早速に地
図を買って市電に乗ってカンボサ
ントに行きました。そこは非常に
大規模で、石塔の大きさや形が色々
あり、時代によつても違つて、ま
るで「死と復活」をテーマにした



衣笠墓地

私が墓参ったお墓の中でも最も古
かったのはイスラエルのダビデ王
のものです。これは三千年前のも
ので、建物の中に保管され、大き
さは $300\text{cm} \times 100\text{cm} \times 100$
 cm で、それにダビデの星の布が被
せられていました。そして、奥の
台の上には無数の冠が飾つてあり
ました。イエス様の墓の跡、聖マ
リヤの墓の跡も見学しましたが、
人間は「チリであり、またチリに
返ることを記憶すべし」と灰の水
曜日に灰を頂いたことを思い出し、
どうしても復活のキリストに結ば
れた生涯を送らせて頂き、世の終
りに神の国に迎えられねばならな
いことを痛感いたしました。



マニラの米軍墓地

麗に掃除された墓地は気持ちの良
いもので、そのような教団の墓地
に葬られたいというのが人情かも
知れません。お墓をきれいにいた
しましよう。

「永遠の休息を彼らに与え、絶
えざる光を彼らの上に照らし給え
!!」

麗に掃除された墓地は気持ちの良
いもので、そのような教団の墓地
に葬られたいというのが人情かも
知れません。お墓をきれいにいた
しましよう。

「永遠の休息を彼らに与え、絶
えざる光を彼らの上に照らし給え
!!」



ダビデの墓

それから数年後に日本に帰り、
高松では屢カトリック墓地の草刈
りに通いました。京都に参りました
てからは何時も墓地委員会には顔
を出し、若王寺、大日山、衣笠の
カトリック墓地にはよく通いました。
日本の習慣は、春秋のお彼岸
とお盆には墓参りをし、祖靈との
交わりを密にする祖靈信仰が定着
していますので、お墓を綺麗に掃
除することが福音宣教にもつなが
ると思いました。そして、墓地委
員会の皆さんにも、十一月の死者
の月ばかりでなく、春秋とお盆の
少なくとも年に四回はお墓の掃除
を正面してしようと呼びかけまし
たところ皆さんが賛成してくれ
り、それからはカトリックの墓地
が綺麗になつたよう思います。

ミラノ、フィレンツェ、ローマ、
オランダ、パリーなどヨーロッパ
の墓地を巡りましたが、ユデオク
リスト文化の復活の雰囲気が
ありました。アメリカ、カナダも
同様でした。ホンコン、マカオ、
バンコック、台北、沖縄、日本は
また違つた雰囲気をもつていてるよ
うでした。

私が墓参ったお墓の中でも最も古
かったのはイスラエルのダビデ王
のものです。これは三千年前のも
ので、建物の中に保管され、大き
さは $300\text{cm} \times 100\text{cm} \times 100$
 cm で、それにダビデの星の布が被
せられていました。そして、奥の
台の上には無数の冠が飾つてあり
ました。イエス様の墓の跡、聖マ
リヤの墓の跡も見学しましたが、
人間は「チリであり、またチリに
返ることを記憶すべし」と灰の水
曜日に灰を頂いたことを思い出し、
どうしても復活のキリストに結ば
れた生涯を送らせて頂き、世の終
りに神の国に迎えられねばならな
いことを痛感いたしました。

日々キリストと共に生きる 一典礼歴にそって

12月10日(木)
私たちと共におられる神
1月21日(木)
イエスのうちに
新たに生まれて
2月18日(木)
母マリアとともに
3月18日(木)
日々の苦しみを
キリストと共に
4月15日(木)
キリストのいのちに
生かされて
講師:北村善郎神父
(京都教区司祭)
時間:午後2時~3時30分
費用:各回700円
(一回のみの参加可能)
主催:カトリック福音センター
会場:西院カトリック会館
<問い合わせ>
カトリック福音センター
TEL 075-822-7123

九月の第三日曜日は、カトリック
カウント(CBS)の日で、日本
中でカトリック教会所属のスカ
ウト達がミサを捧げる日です。

京都教区では、九月三十日に聖
母女子短期大学の講堂をお借りし、
大塚司教をお迎えして、森田神父、
モノロイ神父と共にミサを捧げま
した。司教叙階後初めてお越し頂
いた大塚司教は、「そなえよつね

九月の第三日曜日は、カトリック
カウント(CBS)の日で、日本
中でカトリック教会所属のスカ
ウト達がミサを捧げる日です。

京都教区では、九月三十日に聖
母女子短期大学の講堂をお借りし、
大塚司教をお迎えして、森田神父、
モノロイ神父と共にミサを捧げま
した。司教叙階後初めてお越し頂
いた大塚司教は、「そなえよつね

カトリックスカウトの日



「スカウトたちの希望は、イエス
様である」など、スカウト達に、
優しく、又わかり易く、お話をだ
さいました。また、今年の献金は、
カリタスジャパンを通して、ルワ
ンダの孤児たちに贈りました。共
同祈願は、世界平和のため、災害
に苦しむ人々のため、御旨にかなつ
たスカウト活動ができるように、
など各団で考えました。

ミサの前には、例年通りハイキ
ングを楽しみましたが、今年は参
加人数が少なく(三百人余り)、
少し寂しいスカウトサンデーとな
りました。反省点も多々あります
が、スカウト達の一致と祈りのひ
ときを大切にしたいと思います。
(カトリックスカウト京都教区支
部事務局)

二千年の大聖年を迎えるまでに、
御父の年の一年をのこすのみとな
りました。来るべき大聖年は、神
から与えられた無償のたまものを
喜びと感謝をもって祝います。

京都教区では、発足したばかり
の「教区カトリック協議会」の十
月十七日の会議で、司教より二千
年の大聖年の取組みを考えてみよ
うという呼びかけがありました。
すでに教皇より発表されたローマ
と全世界のための二千年の歴を参
考にして教区の歴を作成します。
その際、以下のことを共通の出發
点といたします。

1 一九九六年の日本二十六聖人
殉教四百年祭の時に作成した「五
力年計画」の最終年として、これ
までの自分たちの掲げた計画の実
行を評価する。

2 そして、「五力年計画」最終
年の二千年の計画をあらためて見
直し、修正して下さい。

3 二千年の大聖年をどのように
過ごすか具体的に歴を作つてみま
しょう。

(ア)自分たちの教会共同体・共同
宣教司牧ブロックで。

(イ)各地区ごとのカトリック協議

に」をモットーとするスカウト活
動の尊さや、希望の年に因んで、

二千年の大聖年のための取組み計画を作りましょう

会で(地区内にある学校・諸施設
も含む)。

(ウ)京都教区全体としての取組み。

4 各地区協議会は、来年二月の
教区カトリック協議会までに、右

記(ア)、(イ)の準備をすすめな
がら、(ウ)「京都教区全体として
の取組み」についての提案を作成

して下さい。

5 小教区や地区だけでなく、教
区内のカトリック学校、諸施設で
も大聖年をどのように過ごすかを
考へ、各地区協議会に提言して下
さい。

6 右記以外の教区の諸委員会、
諸活動、諸団体でも、大聖年をど
のように過ごすかを考え、来年六
月の教区カトリック協議会に間に
合うよう、五月末までに、同書記

局(教区本部事務局内)宛にお送
り下さい。

7 歴の作成とは、單に行事を計
画するだけではなく、二千年をどの
ように過ごすか、テーマを設けて
具体的にどんな取組みをするのか
をまず考えることです。典礼歴に
合わせて小さなテーマを作つたり、
テーマに沿つた運動や活動を起こ
すことも考えられます。

お知らせ

福音センターより

- ◆福音センター養成コース
27日(日)~1月5日(火)休み
- ◆福音センター養成コース
日(土)~6日(日)。三重県研
宗館。一万四千円
- ◆西院力トリック会館での行事
▼おでんとさんの会 毎火曜日13時~16時30分(29日は休み)。会
費二百円
- ▼すみえ教室 10日、17日(木)
13時30分~15時。講師=野元品
子。会費二千円(三回分)と教材
費
- ▼神父が語る文化史 こうざ 2日
(水) 10時30分。テーマ=角倉了
以と高瀬川。資料代五百円
- ◆講演会「日々キリストと共に生
きる—典礼歴にそって—」
10日(木)14時~15時30分。西院
会館。テーマ=私たちと共におら
れる神。講師=北村善郎師。費用
七百円

三重地区より

◆三重県力トリック研修館の行事

2、第4月曜日10時~12時30分

▼茶道教室 每木曜日13時

▼AAグループ 每土曜日19時

◆福音センター養成コース 5日

(日)~28日(月)。大津教会 27日
▼京都教区高校生会合宿予定

奈良地区より

- ◆黙想会 奈良教会 5日(土)~6日(日)。指導=英師(イエズス会)
- ◆大和八木教会 5日(土)~6日(日)。指導=柳本師
- ◆登美ヶ丘教会 6日(日)。指導=クレメンス師(御受難会)
- ◆御所教会 20日(日)。奈良教会 11日(金)~13日(日)。和八木教会 12日(土)~13日(日)。西大和センター 未定
- ◆少年刑務所慰問 12日(土)。登美ヶ丘教会
- ◆初聖体 24日(木) クリスマスミサ中。大和郡山教会 12日(土)~13日(日)。
- ◆西舞鶴教会行事 和八木教会 24日(木) クリスマスミサ中。
- ◆男性の集い 4日(金)19時30分 黙想会 6日(日)9時~。指導=近藤雅弘師
- ◆大掃除と飾付 13日(日)。日曜学校クリスマス会 20日(日)。
- ◆クリスマスキャロリング 24日(木)19時、24時、25日(金)10時

(日)~28日(月)。大津教会 27日
▼京都教区中学生会合宿 27日

京都北部地区より

- ◆英語ミサ 6日(日)15時。西舞鶴教会
- ◆峰山教会子供クリスマス 13日(日)
- ◆晩星女子高等学校クリスマス 23日(水)。宮津市民会館
- ◆宮津教会クリスマスミサ 24日(木)19時。ミサ後、ミニコサート(市民と共に)
- ◆峰山教会市民クリスマス 24日(木)19時。ミサ後、ミニコサート(市民と共に)
- ◆西舞鶴教会行事 和八木教会 24日(木) クリスマスミサ中。
- ◆男性の集い 4日(金)19時30分 黙想会 6日(日)9時~。指導=近藤雅弘師
- ◆大掃除と飾付 13日(日)。日曜学校クリスマス会 20日(日)。
- ◆クリスマスミサ 24日(木)19時、24時、25日(金)10時

京都南部地区より

- ◆京都南部力トリック協議会発足 本年5月から設立準備委員会が毎月一回、合計六回にわたり開かれ、最終的に協議会の規約が決まりました。その規約によって、共同宣教司牧の東西南北四つのブロックから選ばれた信徒二名、修
- ◆子羊会クリスマスパーティー 6日(日)11時30分。大津教会
- ◆安曇川教会市民クリスマス 20日(日)
- ◆クリスマスキャロル 23日(水)。大津教会周辺

教区委員会より

◆青少年委員会

道者一名、司祭一名、合計十六名の協議会委員により11月30日、河原町会館で、第一回協議会が開かれました。

京都南部カトリック協議会は、

京都府南部の信徒・修道者・司祭全員が一つになって、共同宣教司牧を中心に福音宣教をすすめるもの

です。皆様方は、それぞれの教会のブロック会議への代表委員から

の意見をお伝え下さい。福音宣教のためにこの協議会が育っていく

よう、お力添えとお祈りをお願いいたします。(衣笠教会・岡崎)

◆朝禱会 每火曜日7時~8時。

河原町教会。食事及び雜費=三百円。

◆手話ぎょうしつ 每木曜日19時30分~21時。西院会館。主催=カトリック聴覚障害者の会京都グループ。連絡=福音センター柳本

◆コ一口チエレスステ練習日 第2木曜日のみ10時~12時。河原町教会地下ホール。1月は第4木曜日より練習。第2木曜日は新年総会

◆聖マリア養護学校クリスマス祝会 5日(土)

◆インドへ友愛の手を! チャリティーコンサート 5日(土) 19時。京都府立府民ホール「アル

◆十字架の聖ヨハネの祝日 (月)。聖体顯示とミサ。女子カルメル会

◆西陣教会聖歌隊十周年記念聖歌のつどい 5日(土) 20時。西院教会聖堂。曲目=典礼聖歌集より

ミサ曲、クリスマス・キャロル他。入場無料。車での来場は遠慮下さい。連絡 075(821)048

1岡村浩明

◆教会の祈りと聖体贊美式 (日) 17時30分。河原町教会

◆力ナの会結婚相談室開設・例会 6日(日) 13時受付、13時30分~

15時。河原町会館

◆SVP例会 6日(日) 13時。

河原町教会

◆信睦二金会 11日(金) 10時~

13時。西陣教会。会費五百円

◆京都力トリック混声合唱団練習日 13日(日) 14時~。河原町会館六階。練習後パーティ

◆西陣教会歳末助け合い街頭募金 13日(日)、20日(日) 14時(白梅町)

◆英知大学カトリック研究講座 1日、8日、15日(火) 18時~19時30分。テーマ=大聖年第2年(

ティ)。入場料=二千五百円(当

日三千円)。

連絡 075(781)2049 東朝子

◆西院教会聖歌隊十周年記念聖歌例会 20日(日) 13時30分。フランシスコの家

(日) 13時。河原町教会

◆在世フランシスコ会京都兄弟会例会 20日(日) 13時30分。フランシスコの家

(日) 13時30分~14時50分。テー

マ=アシジのフランシスコの実像と虚像~焚かれた彼の伝記し。講師=政本博氏。15時~16時20分。

◆レジオ・マリエコミチウム 第3日曜日13時30分。河原町会館

◆聖母学院小学校クリスマスの集い

児童対象、21日(月)。保護者対象、23日(水)

◆クリスマスキャロル 23日(水)

18時~19時。伏見大手筋商店街。

◆クリスマス市民の集い、深夜ミニ会 10日(木) 19時45分。九条教会

◆信睦二金会 11日(金) 10時~

13時。西陣教会。会費五百円

◆京都キリストン研究会例会 27日(日) 13日(日) 14時~。河原町会館六階。練習後パーティ

◆西陣教会越年元旦ミサ 31日

日ミサの時間と同じ。河原町教会

◆京都キリストン研究会例会 27日(日) 14時。河原町会館

◆西陣教会歳末助け合い街頭募金 13日(日) 23時45分

◆英知大学カトリック研究講座 1日、8日、15日(火) 18時~19時30分。テーマ=大聖年第2年(

大坂教区より

◆英知大学生生涯学習教養講座 19日(土)。河原町教会

◆河原町教会土曜学校クリスマス例会 20日(日) 13時30分。フランシスコの家

◆待降節早朝礼拝 14日(月)

◆英知大学生生涯学習教養講座 19日(土)。河原町教会

◆英知大学生生涯学習教養講座 19日(土)

そ の 他

◆「一万匹の蠍運動」基金報告

累計 20,018,660円
加入者 870名
(10月12日現在)

二千円を突破しました。今後ともよろしくお願いいたします。

◆電話番号情報コーナー

▼いのちの電話(相談窓口)

◆英知大学カトリック研究講座
1日、8日、15日(火) 18時~19時30分。テーマ=大聖年第2年(

大坂教区より

◆英知大学生生涯学習教養講座
1日、8日、15日(火) 18時~19時30分。テーマ=大聖年第2年(

大坂教区より

◆英知大学生生涯学習教養講座
1日、8日、15日(火) 18時~19時30分。テーマ=大聖年第2年(

大坂教区より

◆英知大学生生涯学習教養講座
1日、8日、15日(火) 18時~19時30分。テーマ=大聖年第2年(

大坂教区より

◆英知大学生生涯学習教養講座
1日、8日、15日(火) 18時~19時30分。テーマ=大聖年第2年(

聖靈に祈る。講師=比企潔師。一講座(三回) 千六百円。会場=北野教会(大阪市北区豊崎3-12-18)。問合せ 06(491)5000 英知大学

◆英知大学生生涯学習教養講座
1日(木) 13時30分~14時50分。テーマ=アシジのフランシスコの実像と虚像~焚かれた彼の伝記し。講師=政本博氏。15時~16時20分。

◆英知大学生生涯学習教養講座
1日(木) 13時30分~14時50分。テーマ=羅東耀氏。一般千円、学生五百円。会場=英知大学(尼崎市若王寺2-18-1)。問合せ 06(491)5000 英知大学

◆英知大学生生涯学習教養講座
1日(木) 13時30分~14時50分。テーマ=英知大学(尼崎市若王寺2-18-1)。問合せ 06(491)5000 英知大学

大塚司教の

12月のスケジュール

- 3日(木) 司教常任委員会、正平
協事務所局会議(中央協)
8日(火) 日韓歴史勉強会(中央
協) 18時
9日(水) ~10日(木) 社会問題
司教研究会(中央協)
13日(日) ~15日(火) 大阪管区
事務局長会議(名古屋)
16日(水) ノートルダムクリスマ
スの集い(ユニソン会館) 14時
17日(木) 司教顧問会
24日(木) 市民クリスマス・クリ
スマス深夜ミサ
25日(金) クリスマスミサ
28日(月) ~1月5日(火) 教区
本部事務局休館
- ◆一九九九年の予定
(1月号で詳しく掲載します)
- 1月5日(火) 司祭修道者懇親会
1月22日(金) 司祭評議会
2月15日(月) ~19日(金) 司教
総会
2月21日(日) 教区合同洗礼志願
式。14時~
2月27日(土) 教区カトリック協
議会。14時~
3月27日(土) 聖体奉仕者勉強会
下さい。

3月29日(月) ~31日(水) 待者

青年センター十周年パーティー

去る10月17日、18日に西院力
トリック会館にて、京都カトリック
青年センター十周年パーティー
が行われました。二日間合わせ
て約六十名の参加があり、終始
なごやかな雰囲気でした。

17日の前夜祭では交流を主な
目的として行われました。一部
で仮装パーティだという噂が
流れ、猿や女子高生(司会者)、
更になんと司祭の格好をした神
父(?)もいました。大塚司教
から有り難いお言葉を頂戴した
後、ゲームやダンスなどで頭と
体を使い、また、はるばる横浜
から来てくれた「日韓学生交流
会」のメンバーによるビデオ上
映を含めた報告会が行われまし
た。京都教区で毎年夏に行
われている「アジア体験学
習」とは、また趣の異なる
内容に興味を持って皆聞
いていました。(日韓学生
交流会)についての資料は
青年センターに置いてあり
ます。)

なお青年センターでは、十周
年を記念して柳本神父の切絵力
レンダー(絵柄は亀岡、登美ヶ
丘、岩滝、野外礼拝センター、
久居、唐崎)や絵葉書(西院会
館、網野、大津、大和郡山、宮
津、園部、四日市、登美ヶ丘)
を作成し、好評発売中です。な
お収益金は青年センターの運営、
活動資金となります。是非お買
い求め下さい。詳しくは青年セ
ンターまでお問い合わせ下さい。
連絡075(822)6246
FAX(812)6685

あんてな ((((()))))

18日は午後1時から始ま
り、自己紹介・歓談の後、

((())) あんてな

青年センター十周年の軌跡
を綴った秘蔵のビデオが上
映され、懐かしい姿や様子
に色々な意味で声が上がっ
ていました。(ちなみにこ
のビデオは、青年センター
より貸し出しを行つていま
すので、ご希望があればご
連絡下さい)。この後、青
年センターの所長である柳
本神父、奈良地区青少年担当司
祭のキース・タロック神父司式
で、記念ミサが執り行われま
した。